

令和7年度 社会資本整備総合交付金事業 管路施設管更生工事

金抜設計書

工事番号 2025084000

工事名 令和7年度 社会資本整備総合交付金事業 管路施設管更生工事

施工場所 加東市下滝野地内

兵庫県 加東市

[illegible]

総括情報表

単価適用年月日	0-07.07.01(0)		
	今 回	前 回	
工種区分（公共）	32 下水道（4）		
施工地域区分	35 一般交通影響有り（2）－2		
前払区分	02 補正なし 1.00		
契約保証費用	01 計上する		
週休2日補正	05 対象外		

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							
管路							
管きょ工 (管径400mm)							
管更生工							
管きょ内面被覆工							
更生管材							施工 第0-0001号内訳表
		1		式			
反転・形成工							施工 第0-0002号内訳表
		1		式			
仕上工							施工 第0-0010号内訳表
		1		式			
仮設備							施工 第0-0022号内訳表
		1		式			

工事費内訳書

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
換気工						
換気工						
	1		式			施工 第0-0025号内訳表
管きょ更生水替工						
管きょ更生水替工						
	1		式			施工 第0-0029号内訳表
準備工						
準備工						
準備工						
	1		式			施工 第0-0034号内訳表
障害物除去工						
障害物除去工（超高压洗浄車）						

工事費内訳書

頁0-0004/0045

費目・工種・種別・細目		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設工	障害物除去工（超高压洗浄車） モルタル除去						施工 第0-0041号内訳表
		4		箇所			
交通管理工							
交通誘導警備員							
直接工事費計	交通誘導警備員 B						施工 第0-0046号内訳表
		18		人日			
共通仮設費計							
共通仮設費率分							
				式			
純工事費計							

工事費内訳書

	費目・工種・種別・細目	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
現場管理費											
工事原価計					式						
一般管理費等											
工事価格計					式						
消費税相当額											
総 計					式						

施工 第0-0001号内訳表

更生管材

当り

[illegible]

頁0-0007/0045

当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0008/0045

硬化・形成工

[規格1] φ400

[規格2]

[摘要]

1

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
トラック(クレーン装置付)運転		日			
硬化・形成車運転 4t 154kw		日			施工 第0-0005号内訳表
空気圧縮機運転 (賃料) 第3次基準値		日			
発動発電機運転 (賃料) 第3次基準値		日			
諸雑費		%			#01
全体割増					
単 位 当 り	1	m			

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0009/0045

[規格 1] 4t 154kw

[規格 2]

[摘要]

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0010/0045

反転・引込					
[規格1] φ400		[規格2]		[摘要]	
名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
トラック(クレーン装置付)運転		日			1
反転・引込車運転 4t 154kw		日			施工 第0-0009号内訳表
発動発電機運転 (賃料) 第3次基準値		日			
諸雑費		%			#01
全体割増					
単 位 当 り	1	m			

施工 第0-0009号内訳表

反転・引込車運転

[規格 2]

[摘要]

1 日 当り

[illegible]

頁0-0012/0045

当り

[illegible]

頁0-0013/0045

[規格 1] $\phi 400$

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0012号内訳表

頁0-0014/0045

[規格 1] 4t 2.9t吊

[規格 2]

[摘要]

日

当り

[illegible]

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0015/0045

[規格 1] 4t 2.9t吊

[規格 2]

[摘要]

共用日

当り

[illegible]

施工 第0-0014号内訳表

頁0-0016/0045

[規格 1] φ 400

[規格 2]

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0017/0045

取付管口せん孔仕上工

[規格1] 1日施工

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			1
特殊作業員		人			1
普通作業員		人			1
本管用TVカメラ車運転 2t 95.5kw		日			施工 第0-0017号内訳表
高圧洗浄車運転 4t 154kw		日			施工 第0-0018号内訳表
せん孔機車運転 2t 84kw		日			施工 第0-0019号内訳表
普通トラック運転		日			
水 (無代)	23	m3			
諸雑費		%			#01
全体割増					
単 位 当 り	1	箇所			

施工 第0-0017号内訳表

本管用TVカメラ車運転

[規格 2]

[摘要]

日

当り

[illegible]

施工 第0-0018号内訳表

高圧洗淨車運転

当り

[illegible]

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0020/0045

[規格 1] 2t 84kw

[規格 2]

[摘要]

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

施工 第0-0020号内訳表

頁0-0021/0045

取付管口せん孔仕上工

[規格1]分割施工 仮		[規格2]	[摘要]			1	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					1
特殊作業員			人					1
普通作業員			人					1
本管用TVカメラ車運転 2t 95.5kw			日			施工 第0-0017号内訳表		
高压洗浄車運転 4t 154kw			日			施工 第0-0018号内訳表		
せん孔機車運転 2t 84kw			日			施工 第0-0019号内訳表		
普通トラック運転			日					
水 (無代)		23	m3					
諸雑費			%				#01	
全体割増								
単 位 当 り		1	箇所					

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0022/0045

取付管口せん孔仕上工

[規格1]分割施工 本		[規格2]		[摘要]		1	箇所	当り
名 称 ・ 規 格		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役			人					1
特殊作業員			人					1
普通作業員			人					1
本管用TVカメラ車運転 2t 95.5kw			日			施工 第0-0017号内訳表		
高压洗浄車運転 4t 154kw			日			施工 第0-0018号内訳表		
せん孔機車運転 2t 84kw			日			施工 第0-0019号内訳表		
普通トラック運転			日					
水 (無代)		23	m3					
諸雑費			%				#01	
全体割増								
単 位 当 り		1	箇所					

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0023/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0024/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

回 当 り

[illegible]

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0025/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

回 当 り

[illegible]

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0026/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0027/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

日

当り

数	量
---	---

单 位

單	価
---	---

金額

備

考

施工 第0-0027号内訳表

日

1

日

頁0-0028/0045

当り

[illegible]

頁0-0029/0045

当り

[illegible]

頁0-0030/0045

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0031/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

日

当り

[illegible]

頁0-0032/0045

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0033/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

式

当り

[illegible]

頁0-0034/0045

当り

[illegible]

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0035/0045

〔規格 1〕φ800未満

[規格 2]

[摘要]

280

当り

[illegible]

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0036/0045

[illegible]

頁0-0037/0045

当り

[illegible]

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0038/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

日

当り

[illegible]

施工 第0-0040号内訳表

給水車運転工

当り

[illegible]

頁0-0040/0045

[摘要]

箇所 当り

[illegible]

施工 第0-0042号内訳表

頁0-0041/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

日

当り

[illegible]

施工 第0-0043号内訳表

強力吸引車運転工

当り

[illegible]

施工 第0-0044号内訳表

給水車運転工

当り

[illegible]

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0044/0045

〔規格 1〕	〔規格 2〕	〔 摘 要 〕	1	日	当
--------	--------	---------	---	---	---

[illegible]

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0045/0045

[規格 1]

[規格 2]

[摘要]

人目 当り

[illegible]

数量総括表

[illegible]

数量集計表

工種・種別	細別・規格	単位	計算数量	設計数量	備考
(管きょ更生工)					
更生材料	更生管材 φ400mm	m	190.42	190.4	
反転・形成	硬化・形成工 φ400mm	m	185.92	185.9	
	反転・引込工 φ400mm	m	185.92	185.9	
仕上工	本管口切断工(400～700mm)	箇所	10	10.0	
	本管口仕上工(400～700mm)	箇所	10	10.0	
	管口仕上材	kg	23.60	23.6	
	取付管口せん孔仕上工(1日施工)	箇所	1	1	
	取付管口せん孔仕上工(仮せん孔)	箇所	8	8	
	取付管口せん孔仕上工(本せん孔)	箇所	8	8	
仮設備	仮設備設置工(150～450mm)	回	5	5	
	仮設備撤去工(150～450mm)	回	5	5	
換気工	換気設備	日	9	9	
管きょ更生水替工	反転・形成用水替	箇所	6	6	
準備工	本管テレビカメラ調査 φ800未満	m	185.92	185.9	
	管きょ洗浄工	m	185.92	185.9	
障害物除去工	モルタル・油脂	箇所	4	4	
交通誘導警備員		人日	18	18	

管きよ更生工数量計算書

既設本管径 ϕ 400 mm

[illegible]

準備工(前処理・事前調査・洗浄工) 集計表

[illegible]

交通誘導警備員

路線番号	交通誘導警備員						備考
	管きょ洗浄工 カメラ調査工 (人)	雑物等除去工 (人)	管更生 (人)	取付管 せん孔仕上 分割施工(本) (人)	管口仕上工 (人)	合計 (人)	
13201	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	18.0	
13200			2.0				
15567			2.0				
15596			2.0				
15595			2.0				
計	2.0	2.0	10.0	2.0	2.0	18.0	
施工日数	1	1	5	1	1	9	

※換気工については、施工日数とする。



令和7年度 社会資本整備総合交付金事業

管路施設管更生工事

加東市 下滝野 地内

位置図

1

縮尺 1:50,000

2

加東市

位置図



令和7年度 社会資本整備総合交付金事業 管路施設管更生工事	
加東市 下滝野 地内	
位置図	2
	2
加 東 市	

管渠更生工法(自立管)特記仕様書

この仕様書は、下記の工事の施工に適用する。

工 事 名 : 令和7年度 社会資本整備総合交付金事業 管路施設管更生工事
工事場所 : 加東市下滝野地内
工 期 : 契約締結日の翌日から令和8年1月13日まで

第1節一般事項

1.1 適用

1. 本仕様書は、下水道管渠の更生工事に対して、下水道本管を自立管により更生させる工事に適用するものである。
2. 本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）、土木請負工事必携によるものとする。

1.2適用工法

1. 本仕様書の適用工法は、自立管の形成工法である。
2. 本工事の更生工法は、オメガライナー工法としているが、他の工法で行う場合は、発注者と協議し、承認後施工すること。
3. 受注者は、工法を採用するに当たっては公的審査証明機関等の審査証明を得た工法であり、構築方法にかかわらず、「管渠更生工法における設計・施工管理ガイドライン」で示す「要求性能」に適合する工法でなければならない。

第2節施工の条件

2.1工事概要

受注者は、工事の概要として次の事項を設計図書により確認しなければならない。

- ①工事名称
- ②工事箇所
- ③路線番号
- ④施工延長(管きょ延長)
- ⑤既設管種
- ⑥既設管内径
- ⑦既設管勾配
- ⑧既設管施工年度
- ⑨工法分類
- ⑩更生後の断面

2.2 施工現場の条件

受注者は、工事の着手に当たって現地調査を行い、以下の施工現場の条件事項について確認しなければならない。

- ①道路状況
- ②道路使用許可条件
- ③周辺環境
- ④進入路状況
- ⑤気象・気温
- ⑥仮排水
- ⑦施工時間規制
- ⑧排水条件
- ⑨流下下水量・水位
- ⑩地下水位

2.3 既設管洗浄・前処理

1. 受注者は、下水道管渠の更生工事に先立ち既設管渠内を洗浄し、取付け管突き出し処理等をおこなう。
2. 受注者は、既設管渠調査の結果、更生管のシワ発生等が懸念されるなど前処理工の必要がある場合には、監督員と協議の上、管渠更生工事に支障のないように切断・除去等により処理しなければならない。

第3節 更生管の仕様

3.1 更生管厚

受注者は、工事の設計条件と次の条件に基づき更生管厚の計算を行い、その結果が確認できる資料を作成し監督員に提出しなければならない。

1. 更生管渠の評価
既設管渠の耐荷能力を見込まないこととする。
2. 荷重
鉛直土圧と活荷重による鉛直荷重の総和とする。
3. 更生管厚の算定式
「下水道用硬質塩化ビニル管(JSWASK-1)」および「下水道用強化プラスチック複合管(JSWASK-2)」によるものとする。

3.2 材料特性(物性値)

受注者は、使用する更生管材料が物性値の要求性能として耐荷性能(外圧強さ、曲

げ強さ、曲げ弾性係数、引張強度、引張弾性係数、圧縮強度、圧縮弾性係数)、耐ストレインコーロージョン性(ガラス繊維を使用しているもの)、耐薬品性、耐摩耗性、耐劣化性(ガラス繊維を使用していないもの)、水密性および水理性能について公的審査証明機関等の審査証明を得たもの又は、これと同等以上の品質を有するものでなければならない。

第4節 施工計画

4.1 施工計画書に定めるべき事項

受注者は、管渠更生工事の施工に当たって、工事着手前に調査を行い次の事項を明記した施工計画書を作成し監督員に提出しなければならない。

- ① 工事概要
- ② 職務分担および緊急時の連絡体制
- ③ 工事記録写真撮影計画
- ④ 実施工程表
- ⑤ 工法
- ⑥ 主要機械
- ⑦ 主要資材
- ⑧ 材料設計および水理性能評価
- ⑨ 材料品質証明の内容
- ⑩ 前処理計画
- ⑪ 施工管理
- ⑫ 品質管理
- ⑬ 環境対策
- ⑭ 安全・衛生管理
- ⑮ 材料の製造から使用までの保管期間と保管方法
- ⑯ 材料の運搬方法
- ⑰ 工事記録等の管理
- ⑱ その他、監督員の指示事項等

4.2 職務分担および緊急時の連絡体制

1. 受注者は、工事の着手に際して職務分担表を作成し、監督員に提出しなければならない。
2. 受注者は、本社責任者、現場代理人、主任技術者(監理技術者)の氏名、緊急時の連絡先(昼、夜)を明示した緊急時連絡体制表を作成し監督員に提出しなければならない。

4.3 実施工程表の作成

受注者は、工程計画の作成に当たって設計図書をはじめ「工事概要」、「施工現場

の条件」、「既設管調査・事前処理」の内容を反映し、市民の生活や交通に支障をきたさないように、1サイクルで、施工可能な適切な工事の範囲をあらかじめ明示し、これに必要な作業時間、養生時間等に基づき工程計画を作成し監督員に提出しなければならない。

4.4施工工法

受注者は、管渠更生工事で採用する工法が更生管に必要な構造機能、流下機能等の仕様を満足することを構造計算書、流量計算書に明示するとともに工法選定理由を施工計画書に記載し、監督員に提出しなければならない。

4.5その他の留意事項

1. 受注者は、準備工、片付け工、地先排水の水替え等についても、工事着手前に現場の機器設置スペースおよびマンホール、柵の位置を確認し、使用する主要資機材を明記し監督員に提出しなければならない。
2. 受注者は、工事着手前に監督員と協議のうえ地元住民に工事の内容を説明し、理解と協力を求め、工事を円滑に実施しなければならない。

第5節施工管理

5.1施工管理

1. 受注者は、工事を安全に実施し、かつ品質を確保するために、スパン毎に次の事項について適宜、監督員と協議を行い十分な管理を行わなければならない。
 - ①工程
 - ②安全・衛生
 - ③施工環境
2. 受注者は、工事実施個所、周辺環境、土地利用状況及び道路使用許可条件を遵守して、作業当日内に、1スパン(更生工法の施工単位)の施工の完了又は仮復旧を行わなければならない。
3. 受注者は、現場状況等により施工計画に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議すると共に、施工計画書の変更を行わなければならない。

5.2工程管理

受注者は、毎月末、所定の様式に定める「工事出来高報告書等」により、工事進捗状況を監督員に提出しなければならない。

5.3安全・衛生管理

受注者は、労働災害はもとより、物件損害等の未然防止に努め、労働安全衛生法、酸素欠乏症等防止規則、並びに市街地土木工事公衆災害防止対策要綱等の定めると

ころに従い、その防止に必要な措置を十分講じなければならない。

1. 下水管渠更生工法における安全管理

- 1) 有資格者の適正配置
- 2) 下水道管内作業に適した保護具の着用
- 3) 施工前の安全対策(情報収集)
- 4) 施工時の安全対策
- 5) 周辺環境への対策
- 6) 災害防止についての対策

2. 酸素欠乏、有毒ガスなどの安全処置

3. 供用中の施工における排水対策

4. 安全に関する研修、訓練

5. 交通安全管理について

- 1) 交通誘導員については、交通誘導員A ー 名交通誘導員B 18名 計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は設計図書に関して監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員（警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。）で、交通誘導警備業務（警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。）に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員。

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの。

- 2) 請負者は、交通誘導員として交通誘導警備検定合格者を配置した場合、交通誘導警備検定合格証（写し）を監督員に提出するものとする。

請負者は、交通誘導員として交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員を配置した場合、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有すると確認できる次の資料のいずれかを監督員に提出するものとする。

- ・ 警備員指導教育責任者資格者証（写し）
- ・ 指定講習修了証明書（写し）
- ・ 警備業法施行規則第38条第2項に定める基本教育、及び同条第2項、第3項に定める業務別教育（警備業法第2条第1項第2号の警備業務）を受講したことを証明する警備員名簿及び教育実施状況等の写し、及び交通誘導に関する警備業務に従事した期間（実務経験）が1年以上であることを証明する書類。

5. 4施工環境管理

受注者は、施工中の環境に配慮するために次の環境対策を講じなければならない。

- ① 工事広報
- ② 粉塵対策
- ③ 臭気対策

- ④騒音・振動対策
- ⑤防爆対策
- ⑥温水・排水熱対策
- ⑦宅内逆流噴出等対策

第6節品質管理

6.1品質管理

受注者は、更生後の品質を確保するため、主任技術者又は監理技術者の責任の下で、「施工前の品質管理」「施工時の品質管理」および「しゅん工時の品質管理」について十分管理し、その結果が確認できる資料を作成して監督員に報告しなければならない。

6.2施工前の品質管理

受注者は、工事着手前に、使用する更生材料等の品質を確認するため、適正な管理下で製造されたことを証明する資料を監督員に提出しなければならない。また、受注者は、必要に応じ物性試験を行い、監督員に提出しなければならない。

6.3施工時の構築方法別品質管理

受注者は構築方法別(熱硬化タイプ、光硬化タイプ、熱形成タイプ)に次の項目については施工計画書の記載内容を遵守して適切に管理しなければならない。

受注者は、施工計画書に記載された管理項目、管理値等を適切に管理すると共に、自動記録紙等に温度・圧力・時間等を記録し、監督員に提出しなければならない。

1. 熱硬化タイプ

- | | |
|----------------|------------------|
| ①材料挿入(反転・引込)速度 | ②反転時および拡径時の圧力管理 |
| ③硬化時の圧力管理 | ④硬化温度管理および硬化時間管理 |
| ⑤冷却養生時間管理 | |

2. 光硬化タイプ

- | | |
|-------------|-----------|
| ①材料挿入(引込)速度 | ②拡径時の圧力管理 |
| ③硬化時の電源管理 | ④硬化時の圧力管理 |
| ⑤硬化温度管理 | ⑥硬化時間管理 |
| ⑦冷却養生時間管理 | |

3. 熱形成タイプ

- | | |
|--------------|--------------|
| ①材料挿入(引込)速度 | ②蒸気加熱時の温度管理 |
| ③蒸気加熱時の圧力管理 | ④拡径、冷却時の温度管理 |
| ⑤拡径、冷却時の圧力管理 | |

6.4しゅん工時の品質管理

受注者は、反転、形成工法で使用した試験片(原則、施工スパン毎に採取する)を使用して、公的試験機関やISO/IEC17025認定試験所で試験を行わなければならない。その際、以下の点を確認し、その結果を監督員に提出しなければならない。

1. 設計曲げ強度(短期)の試験結果が申告値を上回ること。
2. 曲げ弾性係数(短期)の試験結果が申告値を上回ること。
3. 耐薬品性が規格値を満足していること。なお、耐震性能の確認のために引張特性・圧力特性の試験を行う場合には、以下の点を確認し、その結果を監督員に提出しなければならない。
4. 引張強度(短期)の試験結果は、申告値を上回ること。
5. 引張弾性係数(短期)の試験結果は、申告値を上回ること。
6. 圧力強度(短期)の試験結果は、申告値を上回ること。
7. 圧力弾性係数(短期)の試験結果は、申告値を上回ること。

第7節出来形管理

7.1寸法管理

受注者は、更生管の出来形を把握するため、更生管内径、延長を計測しなければならない。また、更生管と既設管渠の密着性を確認するため、更生管の内径について、24時間以降で、図1に示す同じ測定位置で計測し、その記録を監督員に提出しなければならない。

7.2更生管厚み・内径の管理

受注者は、更生工事完了後の更生管厚又は仕上り内径が適正であることを次の測定方法により確認しなければならない。

1. 更生管の測定は、1スパンの上下流マンホールの管口付近で行うこと。
2. 更生管の測定箇所は円周上の6箇所とする。ただし、マンホール内に更生管を突出した状態で更生を完了する場合には、突出し部分の管厚に増減が生じるため、既設管渠と更生管の内径差により管厚を求めること。
3. 更生管厚の検査基準は、6箇所の平均管厚が呼び厚さ以上で、かつ、上限は+20%以内とし、測定値の最小値は設計更生管厚以上とする。
なお、既設管渠と同等の水理性能を確保しているものを合格とする。
4. 更生管の内径の測定時期は、硬化直後と24時間以降とする。
5. 更生管厚の測定は、更生管の縫い目を避けて行うこと。

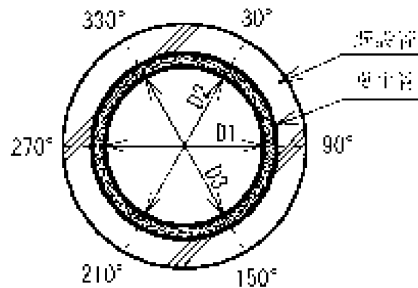


図1 仕上がり内径の測定位置

7.3内面仕上がり状況

1. 受注者は、更生工完了時において、更生管内を洗浄し取付け管穿孔片を除去した後、全スパンについて目視あるいはTVカメラにより外観検査を行い、その結果を監督員に提出しなければならない。
なお、TVカメラの場合、取付け管口においては必ず側視を行い、状況を入念に確認しなければならない。
2. 受注者は、更生工事しゅん工時において、更生管の設計強度、耐久性、水理性能を損なうようなシワ、タルミ、はく離、漏水および異常変色等の欠陥や異常箇所がないことを確認し、その結果を監督員に提出しなければならない。
3. 受注者は、更生管と既設マンホールとの本管管口仕上げ部においては、浸入水、仕上げ材のはく離、ひび割れなどの異常のないことを確認し、その結果を監督員に提出しなければならない。
4. 受注者は、取付管口の穿孔仕上げ状態として、既存の取付管口形態と流下性能を確保し、新たに漏水, 浸入水の原因となる状況が発生させていないことを確認しなければならない。

7.4工事記録写真等の撮影および提出

受注者は、工事記録写真等検査結果および、フィルムなどの記録を報告書に添付して監督員に提出しなければならない。

第8節提出図書

8.1提出図書

受注者は、工事しゅん工時に以下に示す図書を監督員に提出しなければならない。

- ①系統図
- ②本管用調査記録表
- ③事前調査集計表

- ④成果表
- ⑤材料表(納品伝票)
- ⑥施工管理
- ⑦温度管理・圧力管理記録表
- ⑧溶媒から発生するガス濃度測定記録表
- ⑨品質性能試験報告書
- ⑩酸素欠乏等の濃度測定記録表
- ⑪工事写真

第9節 工事看板

9.1 工事用標示板について

工事看板は下図を標準とするが、図案が完成した際、事前に監督員に確認を取り了承を得てから作成し、設置すること。

汚 水 管 工 事 中	
○○○○工事 区間 加東市 ○○ 地内 期間 ○年○月○日～○年○月○日 施工 △△△△株式会社 TEL ○○○○ ○○ ○○○○	
発注者 加東市上下水道部工務課 TEL 0795-43-0534	

旧タイプの工事看板は使用しないこと。